

令和6年を迎えました。新年あけましておめでとうございます。

5年生が社会科の授業で、「未来の車」について調べたり、デザインを考えたりしました。ある子は、羽のついた空とぶ車を考え描いていました。これができれば、道路が混まなくてすみますね。また別の子はPCで車体がゴムでできている車を見つけ、「これなら交通事故が起きない」と喜んでいました。

子供達が成長し社会へ出ていく未来、更にもその先の未来はどうなっているのでしょうか。昨年11月7日の朝日新聞「科学」紙面には、未来の移動手段（モビリティ）について国内外メーカーの最新技術特集がありました。ここでは、運転席のない6座席の自動車が紹介されています。完全自動運転車ですね。空とぶ車も実験が始まっています。2025年大阪万国博覧会では、どんな空とぶ車が見られるのか楽しみです。また、坂の多い町で階段を上り下りできる便利な乗り物を考えている会社もあります。このように、今もこれからも移動手段についてだけでも、私達を助ける試みは続けられていくと思います。

さて現代社会は5番目の社会、**Society 5.0（超スマート社会）**を迎えようとしています。私達の暮らしがここまで来るまでに、Society 1.0からSociety 4.0までの4つの段階あったといわれています。それは、

Society 1.0は、人が、森や平原、海の生き物を、とっていた社会

Society 2.0は、畑を耕し、イネや麦などを、作る社会

Society 3.0は、工業製品がいっぱいつくられ、暮らしが、ずいぶん楽になった社会

Society 4.0は、世界中がイ、インターネットでつながった、今の社会

です。

これからの未来の社会「Society 5.0」は、どんな社会なのでしょう。暮らしに関わる様々なものが変化していくと思います。子供達も「登校は自動運転のバス」で、教科書やノートも姿を消しているといった生活に変化しているかもしれません。しかしどのように時代が変化しようとも、子供達が人間らしく豊かに生きていくために、「知識や技能」「思考力・判断力・表現力」「学びに向かっていく力」を一人ひとりが他者との関わり合いの中で、身に付けていくことには変わりはありません。

AIは人間にとって便利な道具です。人は仕事の効率性や量でAIにかなわなくなるかもしれません。でも、その仕事の目的を考え、意義を見出すのは人です。人間らしく豊かに生きていく社会を創造していく子供達を、いかにAIでも超えられないでしょう。「子供らしさのある 想像・発想」が、授業の中や図工の作品等々に多々見られます。このことは、「授業参観」「子供達の会話」等、子供達と接する機会に感じていただけたらと思います。

本校ではランドデザインに掲げてありますように、カリキュラム開発部の教員を中心に「かかわり合いを通して主体的に学ぶ子供の育成～粘り強く課題解決を目指す授業づくり～」に取り組んでいます。子供達の「挑戦する意欲」「最後までやり遂げる力」を育てたいと思っています。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

校長 古山 雅世

やなぎばし

令和6年 1月号

